



OMIX News Letter

海洋混合学の創設

物質循環・気候・生態系の維持と長周期変動の解明

No.6 2017. 10

第2回海洋混合学OMIX YMRサマースクール報告

OMIXに関係する若手研究者の相互理解を深める事を目的として、9月16日～18日に大分県・別府市にてサマーセミナーが開催されました。今年は昨年に引き続き2回目の開催となりましたが、昨年北海道開催のため参加が難しかった九州・四国地区の方々に参加しやすい場所という事で、別府での開催となりました。いざ募集を開始すると、西日本の方々だけでなく、関東～北海道にかけて(さらには海外在住の方も!)幅広く参加者が集まり、合計28名の方にご参加頂きました。当日は、台風18号通過のため、セミナー開催に大きな影響がでる事を危惧しておりましたが、台風が九州地方に上陸する前に集合し、通過中は屋内でセミナーを行い、通過後に解散するという、まさに針の穴を通すようなスケジュールで無事行う事ができました。

さて、今年のセミナーは、縁辺海での物理過程、日本周辺海域での栄養塩輸送過程、生態系動態、微量金属元素の分布・動態、乱流鉛直混合過程という大まかなテーマのもと、先生方によるレクチャーと若手の研究発表を織り交ぜて行いました。今年のレクチャーは、ワシントン大学のRen-Chieh Lien博士による南シナ海での大振幅内部ソリトン波の観測をはじめ、九州大学の松野健特任教授によるトカラ海峡での乱流鉛直混合過程、愛媛大学の郭新宇教授による黒潮での栄養塩の水平・鉛直輸送過程、鹿児島大学の小針純准教授による黒潮混合と黒潮の低次生産構造というように、まさに現在の海洋学で最もホットで最先端の話題について、基本的な内容も含めて分かりやすくご講演を頂きました。そして、先生方のレクチャーに刺激を受けたのか、後に続く若手の研究発表でも活発な議論が行われました。以下、今年度の幹事からのコメントを紹介いたします。

東北水研・田中雄大: 今年は2日目のお昼にポスター発表を設け、各研究の議論の時間を十分取れるようにしました。聴講者と突っ込んだ議論をし、様々なコメントをもらう事ができ、非常に有意義な時間になったのではないかと思います。また、2日目の懇親会では、偶然放送されていたNHKスペシャル「黒潮」に、参加者の視線が釘付けになっていました。台風の通過により、セミナー期間中に別府の散策ができなかったのは残念でしたが、その分参加者同士が集まり、議論や交流を深める時間を多く取れたのではないかと思います。OMIXプロジェクトやその後において、分野横断型の共同研究を進めていくには、今後もこのような異分野との交流する機会を定期的に設け、相互理解を深めていく事が重要との認識を共有し、閉会となりました。最後に、セミナーにご参加頂いた皆様、セミナーの開催準備に携わって頂いた皆様に、改めて御礼申し上げます。

長崎大学・近藤能子: 当日は台風18号の迫る中での開催でしたので遠方から来られる皆さんが到着できるか心配もありましたが、予定通り全員参加のもと、無事に終了できて安堵しております。そして昨年度同様、今回のサマースクールも講師として招待した先生方のレクチャーは勿論のこと、若手研究者の皆さんの発表もかなり高度なもので、勉強させていただきました。OMIXでは優秀な学生・PDが育っていることを強く感じ、私自身、刺激を多く受けました。また来年も参加できれば幸いです。

九州大学・堤 英輔: 今年が初めての参加となりましたが、OMIXサマースクールは、参加者の規模がちょうど良く、様々なバックグラウンドの人と交流できる場だと感じました。特に、普段交流する機会の少ない研究者・学生の発表を聴き、また自分の研究について聴いてもらい意見交換をすることは、視野を広げる良い経験となりました。反省点を挙げるならば、自戒も含めて、若手からの質疑も先生方に負けないくらいより活発であれば良かったことでしょうか。今回の経験を次回のサマースクールのより良い成功と海洋混合学の進展に繋げられるよう、今後も精進していきたいと思います。



Ecosystem Studies of Sub-Arctic and Arctic Seas Open Science Meeting 2017

Ecosystem Studies of Sub-Arctic and Arctic Seas (ESSAS) Open Science Meeting (OSM) 2017が2017年6月11日～15日の期間、ノルウェーのトロムソ ラディソンブルーホテルを会場に開催された。ESSASは亜寒帯域から北極域を対象海域に気候変動の理解とそれに対する海洋生態系の応答や社会との関わりを明らかにすることを目的とした国際プログラムである。2005年Global Ocean Ecosystem Dynamics (GLOBEC) のリージョナルプログラムとして始まり、現在はIntegrated Marine Biosphere Research (IMBeR) のリージョナルプログラムとして推進されている。OSM2017ではOMIXの成果を発表するとともに諸外国の研究者との情報交換を目的としたセッション“Advection and mixing and their ecosystem impacts”を設け、16件の口頭発表(うち3件OMIX成果)、5件のポスター(うち2件OMIX成果)が発表された。安田一郎領域代表(東京大学大気海洋研)には“Vertical mixing in the subarctic North Pacific and impact on biogeochemistry and climate”のタイトルで基調講演をいただいた(写真はプレナリーセッションにて講演をしている安田一郎領域代表)。



情報交換欄

●調査航海関連

航海:白鳳丸KH-17-3航海

期間:2017/6/23-8/9

目的:「北太平洋亜寒帯における微量元素・同位体分布の生物地球化学的横断観測(国際GEOTRACES計画)」

航海:みらいMR17-04 航海

期間:2017/7/10-8/21

目的:「北太平洋及びベーリング海における生物地球化学-生態系観測」

航海:白鳳丸KH-17-4航海

期間:2017/8/12-10/5

目的:「生態学・生物地球化学の全太平洋3次元マッピングによる基礎的データベースの構築」

以下予告

航海:白鳳丸KH-17-5航海

期間:2017/10/17-12/18

目的:「OMIX航海: 海洋混合過程とその物質循環・気候・生態系に対する役割の統合的理解及び衛星・現場観測比較、ルソン海峡における内部波と乱流構造の観測研究」

航海:かしま丸

期間:2017/11/11-20

目的:「トカラ海峡周辺海域における乱流・水塊・生態系観測」

●会議・シンポジウム・ワークショップ関連

会議:PICES-ICES Early Career Scientist Conference "Climate, Oceans and Society Challenges & Opportunities"

期間:2017/5/30-6/2

場所:釜山, 韓国

会議:Ecosystem Studies of Sub-arctic and Arctic Seas Open Science Meeting 2017

期間:2017/6/11-15

場所:Tromsø, Norway

シンポジウム:大槌シンポジウム2017 北太平洋を中心とした海洋表層変動研究の現状と将来

期間:2017/8/2-3

場所:東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 大槌

会議:2018年ロシア船舶航海計画立案打ち合わせ

期間:2017/8/28-29

場所:北海道大学低温科学研究所 札幌

会議:Goldshmidt 2017国際会議 GEOTRACES IDP2017 Launching event

期間:2017/8/15

場所:Paris, France

会議:ICES Annual Science Conference 2017 Open session "Physical, economic and societal impacts of climate change: testing common scenarios for future impact"

期間:2017/9/19

場所:Fort Lauderdale, USA

会議:ICES Annual Science Conference 2017 Theme session A "ICES - PICES session: Projected impacts of climate change on marine ecosystems, wild captured and cultured fisheries, and fishery dependent communities"

期間:2017/9/20-21

場所:Fort Lauderdale, USA

ワークショップ:Ocean Carbon Hot Spots Workshop

期間:2017/9/25-26

場所:Moss Landing, CA, USA

会議:GODAE OceanView Joint DA-TT & OSEval-TT Meeting

期間:2017/10/11-13

場所:CMRE, La Spezia, Italy

以下予告

シンポジウム:International Coupled Data Assimilation Symposium

期間:2017/11/5-8

場所:Qingdao, China

会議:OMIX A02-3班, A03-5班合同会議 北太平洋の生物生産の制御要因

期間:2017/11/21-22

場所:北海道大学低温科学研究所 札幌

OMIX News Letter編集

原田尚美 国立研究開発法人海洋研究開発機構

西岡 純 北海道大学・低温科学研究所

問い合わせ先メールアドレス haradan@jamstec.go.jp

nishioka@lowtem.hokudai.ac.jp

ホームページアドレス

http://omix.aori.u-tokyo.ac.jp